

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。



加齢性難聴者への公的支援

補聴器購入費の助成を

すでに23区中8区が助成

みんなでやってみよう！

聞こえのチェック

(当てはまる項目に○を)

項目	チェック
1 会話をしているときに聞き返すことがよくある	
2 後ろから呼びかけられると気づかないことがある	
3 聞き間違いが多い	
4 見えない所からの車の接近にまったく気が付かないことがある	
5 話し声が大きいと言われる	
6 集会や会議など数人の会話でうまく聞き取れない	
7 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくい	
8 相手の言ったことを推測で判断することがある	
9 騒音の多い職場や大きくうるさい音のする場所で過ごすことが多い	
10 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある	
合計数	

0~2個：現状では問題ないと思われるが、定期的な耳の検査を。

3~4個：一度、耳鼻科の専門医に相談を。

5個以上：できるだけ早く耳鼻科の専門医の診察を。

(出典：日本補聴器工業会 ニュースレター)

認知症のリスクにも

聞くということとは、単に音として聞くだけでなく、「悲しい」などの感情を抱いたり、考えた言葉で返したりします。聞こえが悪くなることで脳は感じたり考えたりすることが少なくなり、認知機能が低下するとい

国立長寿医療センターの調査では、65歳以上の約半数に難聴があると推計。品川では4万人を超えます。

65歳以上の約半数が難聴

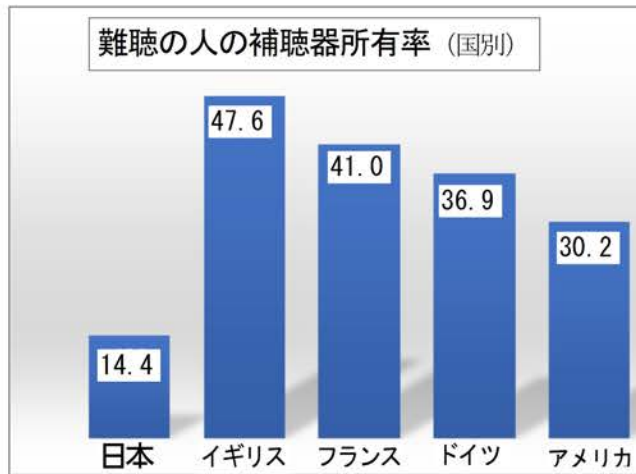
早期診断・早期対応こそ

難聴は、早期に診断し早い補聴器の使用が必要です。進行してからでは十分な聞こえの改善が得られませんが、そのため聴力検査をだれもが受けられる仕組みが必要です。品川区の医師会からも「65歳以上の高齢者への聴力検査の実施」を求める要望書が繰り返し返し出されています。(裏ページに続く)

われていきます。2017年アルツハイマー病国際会議で「難聴対策は認知症を予防する一番大きな因子である」と報告されました。

23区ですでに8区が補聴器購入費助成をしています。しかし品川区は「やる考えはない」と答弁。区民の運動で補聴器購入費の助成と聴力検査の健診制度を実現させましょう。

23区で8区が補聴器購入費を助成



ヨーロッパの多くの国では補聴器購入の公的補助があるため個人負担はないか、少額です。日本では、障害者手帳のある高度・重度難聴者に限られています。

無料 法律・生活相談会

2月27日 (木)
午後5:00~

鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 ☎3783-8833

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。



2月9日「品川の医療と介護をよくする会」と大井町駅前署名宣伝する石田区議と鈴木

第1回定例区議会が始まります。

鈴木ひろ子の代表質問

2月20日 (木) 午前10時~

- 1、羽田新ルート ついに実機飛行が始まり、想像以上の轟音・威圧感。これを日常化する本格実施は許されない。区長はなぜ中止を求めないのか
- 2、新たな長期基本計画は、超高層再開発と巨大大道優先から、住民参加を位置づけた福祉・くらし優先の区政に転換を
- 3、23区で最低の福祉から脱却し、介護、障害者福祉、子育て支援の抜本的な拡充を
- 4、駅の超混雑、学校・保育園不足、風害・日照、修繕や建替えの課題。これ以上の超高層再開発は見直し、持続可能な街づくりへ転換を
- 5、99%黒塗り・非公開の庁舎検討報告書は公開を。庁舎建て替えはJR開発と切り離し、徹底した住民参加と公開で十分な検討を

鈴木ひろ子が代表質問、おくの晋治区議が一般質問を行います。ぜひ傍聴においでください。

おくの晋治区議の一般質問

2月20日 (木) 午後1時~

- 1、買収した道路用地を講演や学童保育所などに活用した名古屋市に学び、放射2号線は断念を
- 2、深刻な地球規模での気候変動 2050年「実質ゼロ」へ、国に温室効果ガス削減目標引き上げを求めよ
- 3、教員の長時間労働を固定化する変形労働制の導入は止めよ
- 4、消費税10%は区民の暮らしと営業を壊す。緊急に5%へ減税を！区民を応援する政策を！